

# 2021年12月期 第2四半期決算説明会

**TAMRON**  
Focus on the Future

2021年8月6日（金）  
株式会社タムロン  
（証券コード：7740）

Tamron Co., Ltd.

# 目次

## I.2021年概況

1. 2021年上期総括
2. 2021年通期見通し

## II.2021年上期実績

1. 2021年上期連結実績
2. 営業利益変動要因
3. 2021年上期セグメント別実績
  - ①写真関連事業
  - ②監視&FA関連事業
  - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

## III.2021年通期計画

1. 2021年通期連結計画
2. 2021年通期セグメント別計画
  - ①写真関連事業
  - ②監視&FA関連事業
  - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業
3. ESGへの取り組み

## IV.参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

# I . 2021年概況

# I - 1 . 2021年 上期総括

## 【 経 営 環 境 】

- 市場環境 : **レンズ交換式カメラ、交換レンズ市場が前年同期の約半減から大きく回復**
  - ・レンズ交換式カメラ ⇒ 数量**38%増**、金額**76%増**
    - ※うち、ミラーレス : 数量**55%増**、金額**114%増**
    - ※うち、一眼レフ : 数量**21%増**、金額**13%増**
  - ・交換レンズ ⇒ 数量**33%増**、金額**59%増**
- 為替動向 : **売上高・利益にプラス影響** (ドルは前年同期並み水準だが、ユーロが約10円の円高)

## 【 当 社 実 績 】

- 連結業績 : **30%以上の増収、かつ営業利益率13%と高収益化**  
⇒**2020年通期の営業利益36億円を、2021年は上期だけで達成**
- 写真関連 : 自社ブランドで**新製品3機種投入、当社初のAPS-Cサイズミラーレス用投入**  
自社ブランド**約40%増収**、OEM**約60%増収**
- 監視&FA関連 : **中国市場での売上高は約倍増**
- 車載 : 増収基調が継続し**約45%増収**
- その他 : **自己株式消却 (95万株) を実施** (消却前の発行済株式総数に対する割合 3.66%)

# I - 2 . 2021年 通期見通し

## 【下期経営環境】

- 市場環境 : 市場環境は回復基調ながら、市場の伸び率は上期からは落ち着く想定。半導体逼迫に起因した部材供給に懸念。

## 【当社見通し】

- 下期は中長期を見据えた先行開発等での経費増、部材供給対応等でのコスト増等を見込むが、

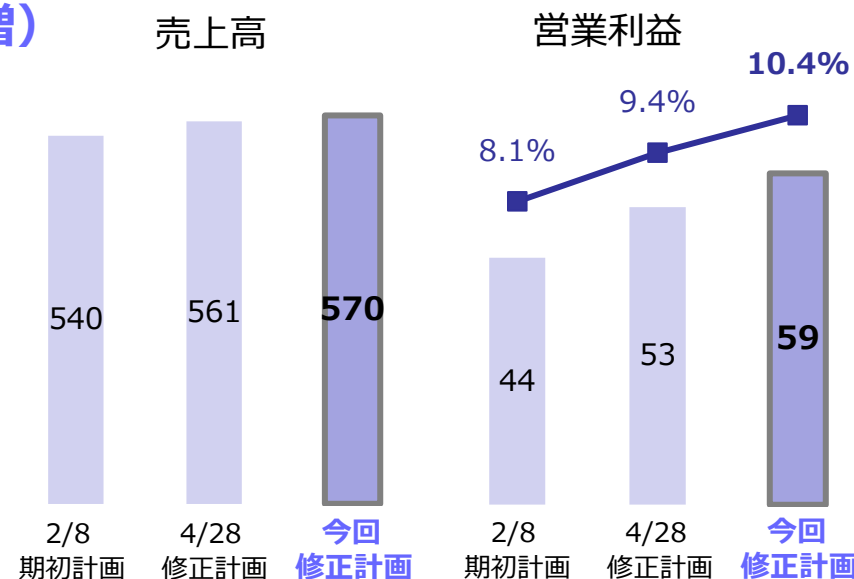
### 通期計画を上方修正

(4月の上方修正に続き今期2回目。期初計画から大幅増)

⇒併せて配当予想も10円増配(期末配当)に修正

- 自社ブランド : 当社初のXマウント用交換レンズ投入
- 監視&FA : 上期はTV会議用の落ち込みで停滞  
⇒通期では2桁増収へ
- 車載 : 売上高50億円の大台へ

【2021年通期計画推移】 (単位: 億円)



## Ⅱ. 2021年上期実績

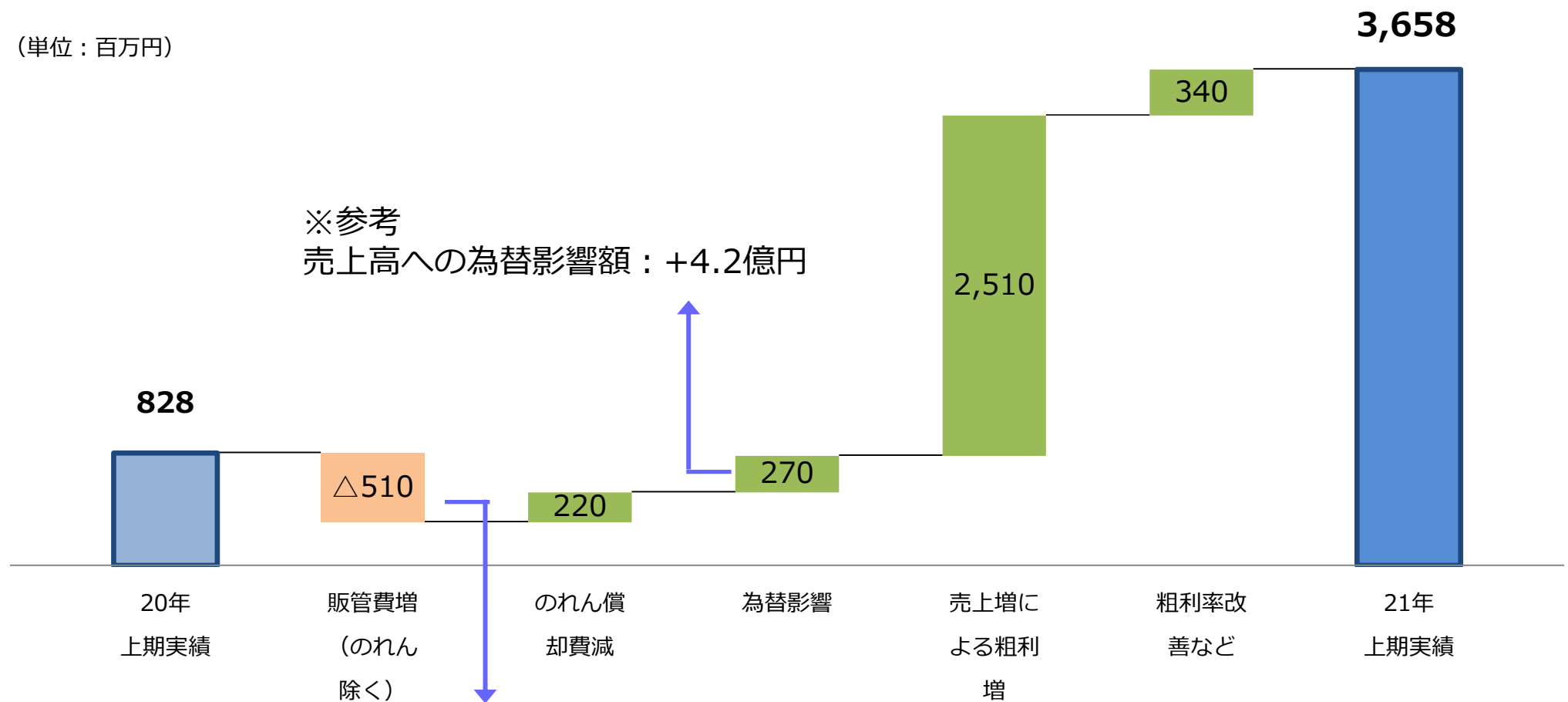
## Ⅱ-1. 2021年上期 連結実績

- 30%以上の大幅増収、粗利率2%改善により、**営業利益は4.4倍となる大幅増益**
- 自社ブランド、OEM、車載レンズの好調等により、売上・利益ともに計画を大きく超過  
(7/28 業績予想修正を公表済み)

(単位：百万円)	2020年 上期実績	2021年 上期計画 (4/28計画)	2021年 上期実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	20,896	25,800	27,888	+6,992	+33.5%	+2,088	+8.1%
粗利益	7,972	-	11,211	+3,239	+40.6%	-	-
粗利益率	38.2%	-	40.2%	+2.0%	-	-	-
営業利益	828	2,300	3,658	+2,829	+341.5%	+1,358	+59.1%
営業利益率	4.0%	8.9%	13.1%	+9.1%	-	+4.2%	-
経常利益	1,164	2,300	3,750	+2,585	+222.0%	+1,450	+63.1%
経常利益率	5.6%	8.9%	13.4%	+7.8%	-	+4.5%	-
四半期純利益	843	1,660	2,685	+1,841	+218.3%	+1,025	+61.8%
純利益率	4.0%	6.4%	9.6%	+5.6%	-	+3.2%	-
ドル	108.24	106.55	107.82	△0.42	-	+1.27	-
ユーロ	119.36	126.92	129.92	+10.56	-	+3.00	-

## Ⅱ-2. 営業利益変動要因

(単位：百万円)



<b>販管費増加額</b>	<b>+4.1億円</b>
＜うち特殊要因＞	
・ のれん償却費減少影響	+2.2億円
・ 為替影響	△1.2億円
<b>上記特殊要因除く、実質販管費増加額</b>	<b>+5.1億円</b>
※うち、研究開発費	(+9%) +2.0億円

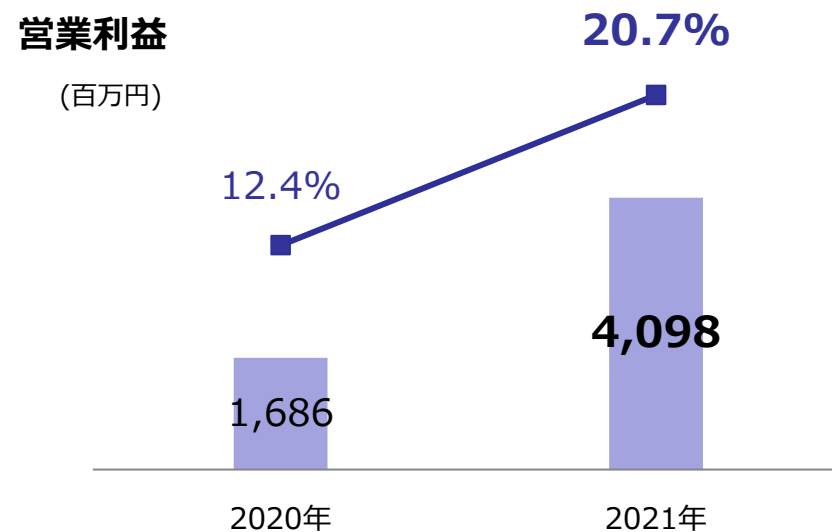
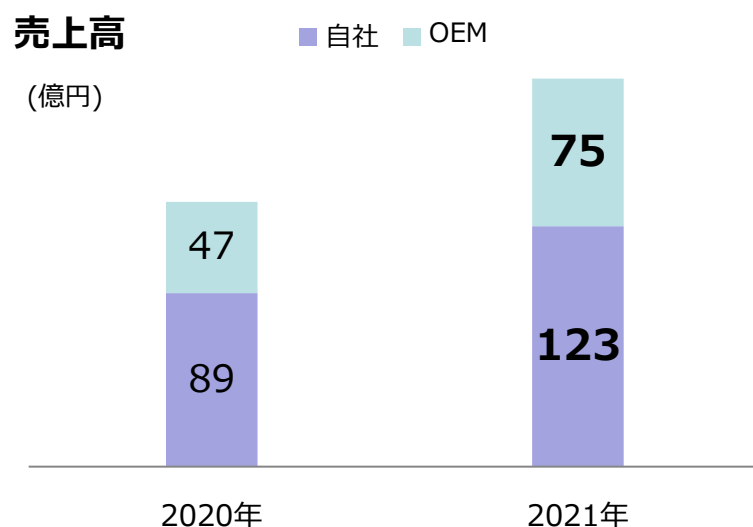


## Ⅱ-3. 2021年上期 セグメント別実績

### ①写真関連事業

(単位：百万円)	2020年 上期実績	2021年 上期計画 (4/28計画)	2021年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	13,549	17,900	19,847	+6,298	+46.5%	+4.0億円	+1,947	+10.9%
営業利益	1,686	3,150	4,098	+2,412	+143.0%	+2.3億円	+948	+30.1%
営業利益率	12.4%	17.6%	20.7%	+8.3%	-	-	+3.1%	-

- 自社ブランドはミラーレス用の大幅増収に加え、従来の一眼レフ用も増収に転換
- OEMは前年の市場の大幅縮小の反動、受注機種増により大幅増収
- 大幅増収・販管費比率の低下により、**計画を大きく上回り、営業利益率は20%台へ**



## Ⅱ-3. 2021年上期 セグメント別実績

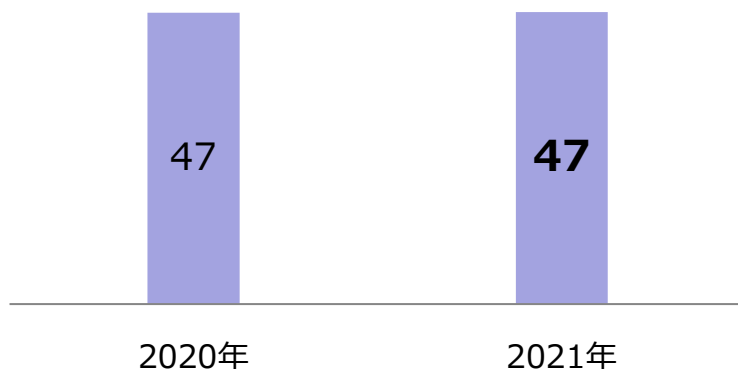
### ②監視&FA関連事業

(単位：百万円)	2020年 上期実績	2021年 上期計画 (4/28計画)	2021年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	4,667	4,800	4,678	+10	+0.2%	+0.3億円	△121	△2.5%
営業利益	349	500	233	△116	△33.2%	+0.5億円	+183	+366.8%
営業利益率	7.5%	1.0%	5.0%	△2.5%	-	-	+4.0%	-

- 監視、FA/マシンビジョン用は、**中国市場での売上倍増**をはじめ、着実に増収
- TV会議用が昨年から続く需要減少傾向の継続により減収

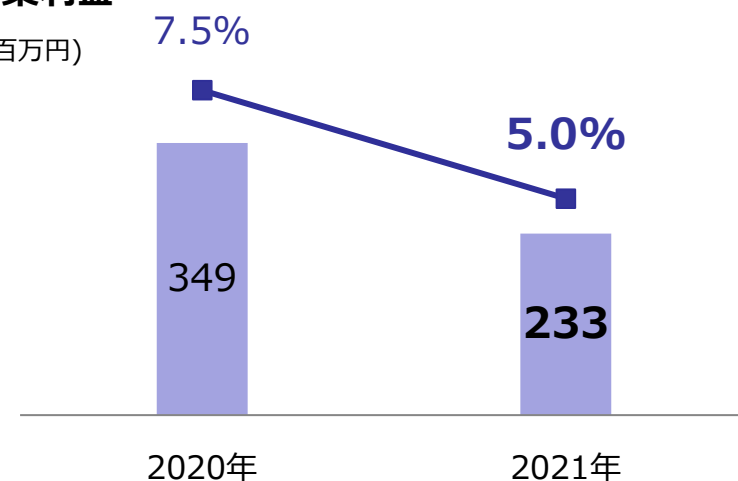
#### 売上高

(億円)



#### 営業利益

(百万円)



※2021年より開示セグメントを変更  
⇒従来の特機関連事業から「監視/FA関連事業」のみを独立

※2020年実績も組み換えて表示

## Ⅱ-3. 2021年上期 セグメント別実績

### ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

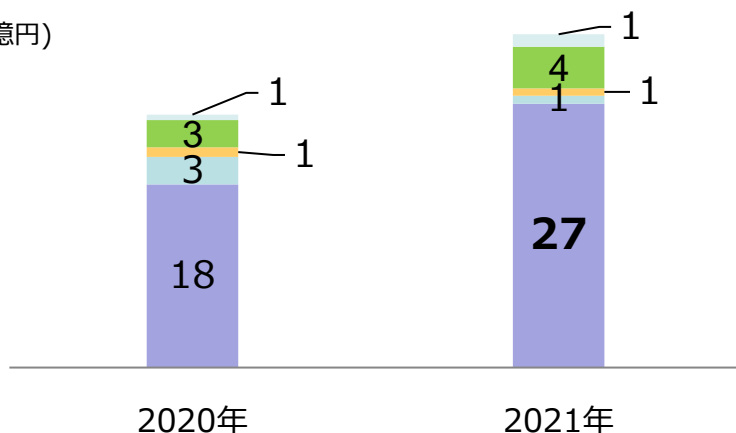
(単位：百万円)	2020年 上期実績	2021年 上期計画 (4/28計画)	2021年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	2,679	3,100	3,362	+683	+25.5%	△0.1億円	+262	+8.5%
営業利益	199	300	496	+297	+149.2%	△0.1億円	+196	+65.4%
営業利益率	7.4%	9.7%	14.8%	+7.4%	-	-	+5.1%	-

- 車載用レンズはセンシング向けが好調に推移し、**大幅増収継続**
- ドローンは受注機種の販売伸び悩みにより減収
- 車載用レンズの増収効果・DSC/VCでの利益改善等により、**計画を大きく上回り、営業利益率は2桁へ**

売上高

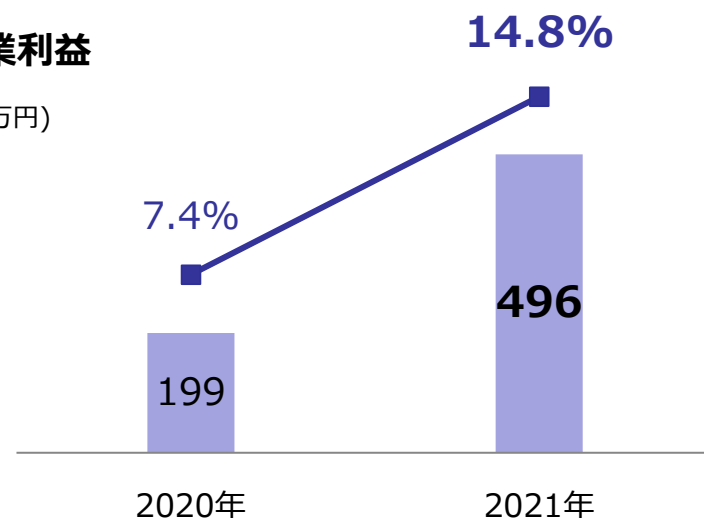
(億円)

■ 車載 ■ ドローン ■ 医療 ■ DSC/VC ■ 他



営業利益

(百万円)



※2021年より開示セグメントを変更  
⇒従来のレンズ関連事業と特機関連事業の「監視/FA関連事業」以外を統合

※2020年実績も組み換えて表示

## Ⅲ. 2021年通期計画

# Ⅲ-1. 2021年通期 連結計画

- コロナ再拡大、部材供給面等リスクは散見されるも、上期実績も踏まえ、上方修正  
(特に利益面は2桁の上方修正)
- 前期比では2桁増収、約60%の営業・経常増益、当期純利益は倍増
- 再び営業利益率10%台の企業体質へ

(単位：百万円)

	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (4/28計画)	2021年 通期修正計画	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	48,375	56,100	57,000	+8,624	+17.8%	+900	+1.6%
営業利益	3,575	5,300	5,900	+2,324	+65.0%	+600	+11.3%
営業利益率	7.4%	9.4%	10.4%	+3.0%	-	+1.0%	-
経常利益	3,750	5,300	5,900	+2,149	+57.3%	+600	+11.3%
経常利益率	7.8%	9.4%	10.4%	+2.6%	-	+1.0%	-
当期純利益	1,958	3,500	3,890	1,931	+98.6%	+390	+11.1%
純利益率	4.0%	6.2%	6.8%	+2.8%	-	+0.6%	-
ドル	106.77	106.78	107.91	+1.14	-	+1.13	-
ユーロ	121.92	126.46	128.96	+7.04	-	+2.50	-

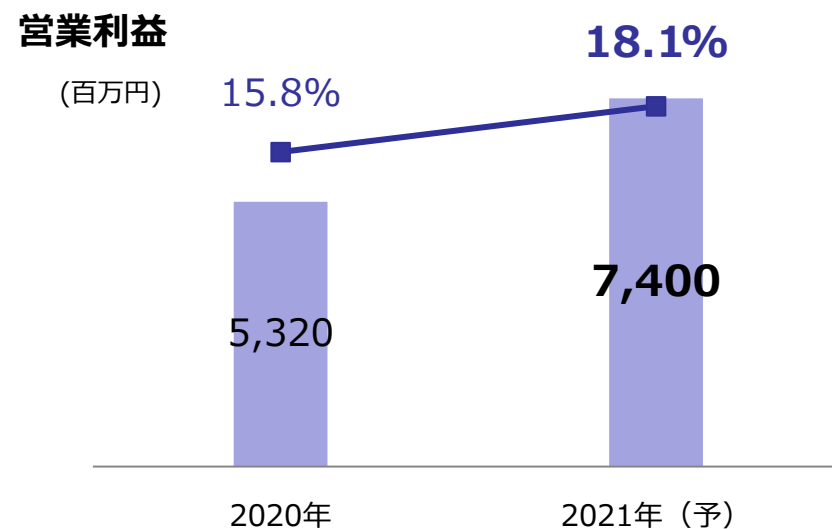
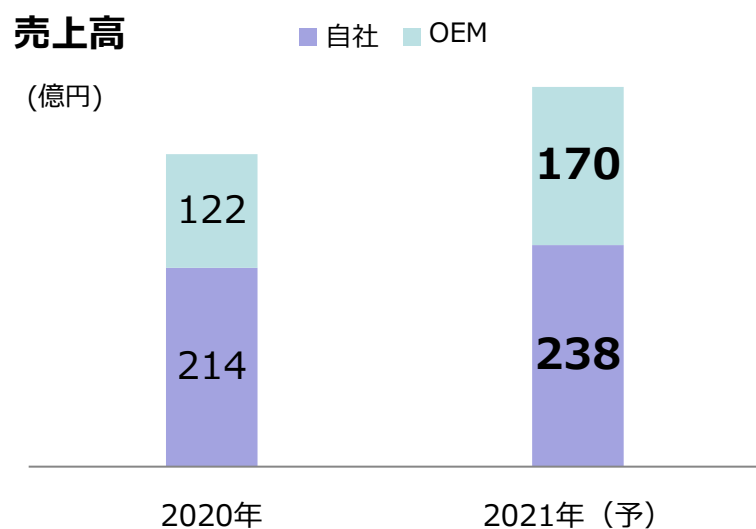
※下期前提為替レート    ドル    :    107円    ⇒    108円  
    ユーロ    :    126円    ⇒    128円

## Ⅲ-2. 2021年通期 セグメント別計画

### ①写真関連事業

(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (4/28計画)	2021年 通期修正計画	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	33,569	38,900	40,800	+7,230	+21.5%	+1,900	+4.9%
営業利益	5,320	6,850	7,400	+2,079	+39.1%	+550	+8.0%
営業利益率	15.8%	17.6%	18.1%	+2.3%	-	+0.5%	-

- 上期に対しては伸び率鈍化も、**自社ブランド、OEM共に2桁増収**
- **営業利益率は高水準を達成した2019年と同水準に再び向上**



# 自社ブランド新製品投入状況

区分		2019年投入		2020年投入		2021年投入	
ミラーレス	単焦点	12月発売  24mm F/2.8 OSD M1:2 (F051)	12月発売  35mm F/2.8 OSD M1:2 (F053)	1月発売  20mm F/2.8 OSD M1:2 (F050)			
	広角ズーム	7月発売  17-28mm F/2.8 RXD (A046)				6月発売  11-20mm F/2.8 RXD (B060)	
	標準ズーム					1月発売  17-70mm F/2.8 VC RXD (B070)	
	望遠ズーム			5月発売  70-180mm F/2.8 VXD (A056)	10月発売  70-300mm F/4.5-6.3 RXD (A047)	6月発売  150-500mm VC VXD (A057)	
	高倍率ズーム			6月発売  28-200mm F/2.8-5.6 RXD (A071)		年内発売予定  ソニー Eマウント用 富士フィルムXマウント用 18-300mm VC VXD (B061) 当社初の富士フィルムXマウント用レンズを ソニー Eマウント用と同時開発	
一眼レフ	5月発売  35-150mm F/2.8-4 VC OSD (A043)	6月発売  SP 35mm F/1.4 USD (F045)					

## Ⅲ-2. 2021年通期 セグメント別計画

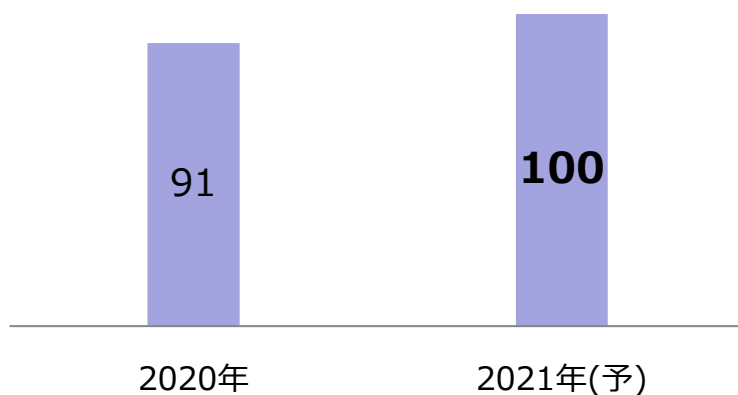
### ②監視&FA関連事業

(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (4/28計画)	2021年 通期修正計画	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	9,069	11,300	10,000	+930	+10.3%	△1,300	△11.5%
営業利益	577	700	550	△27	△4.7%	△150	△21.4%
営業利益率	6.4%	6.2%	5.5%	△0.9%	-	△0.7%	-

- 中国市場向けモデルでの開発遅れ等により売上高を下方修正も、前期比では**2桁増収**
- **中期を見据えてFAやカメラモジュールの開発機種増、中国での高機能機種開発体制も整備**

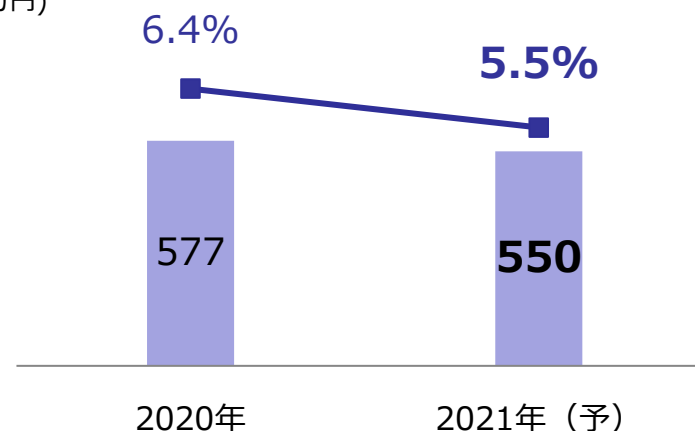
#### 売上高

(億円)



#### 営業利益

(百万円)



※2021年より開示セグメントを変更  
⇒従来の特機関連事業から「監視/FA関連事業」のみを独立

※2020年実績も組み換えて表示



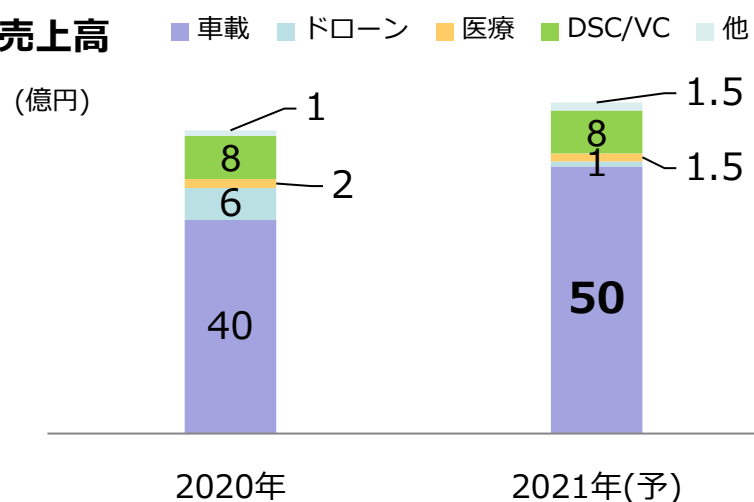
## Ⅲ-2. 2021年通期 セグメント別計画

### ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

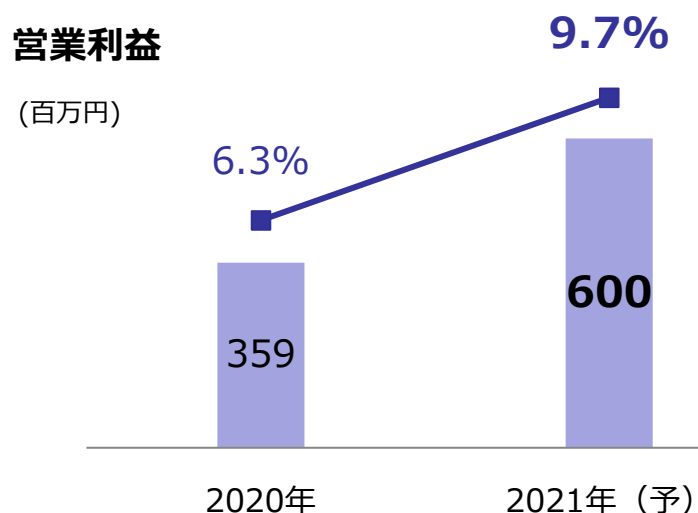
(単位：百万円)	2020年 通期実績	2021年 通期計画 (4/28計画)	2021年 通期修正計画	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	5,735	5,900	6,200	+464	+8.1%	+300	+5.1%
営業利益	359	450	600	+240	+66.9%	+150	+33.3%
営業利益率	6.3%	7.6%	9.7%	+3.4%	-	+2.1%	-

- 車載カメラ用レンズは、**売上高50億円の大台へ**
- ドローンは受注機種の販売伸び悩みにより減収
- DSC/VCは前年同期並みを維持

#### 売上高



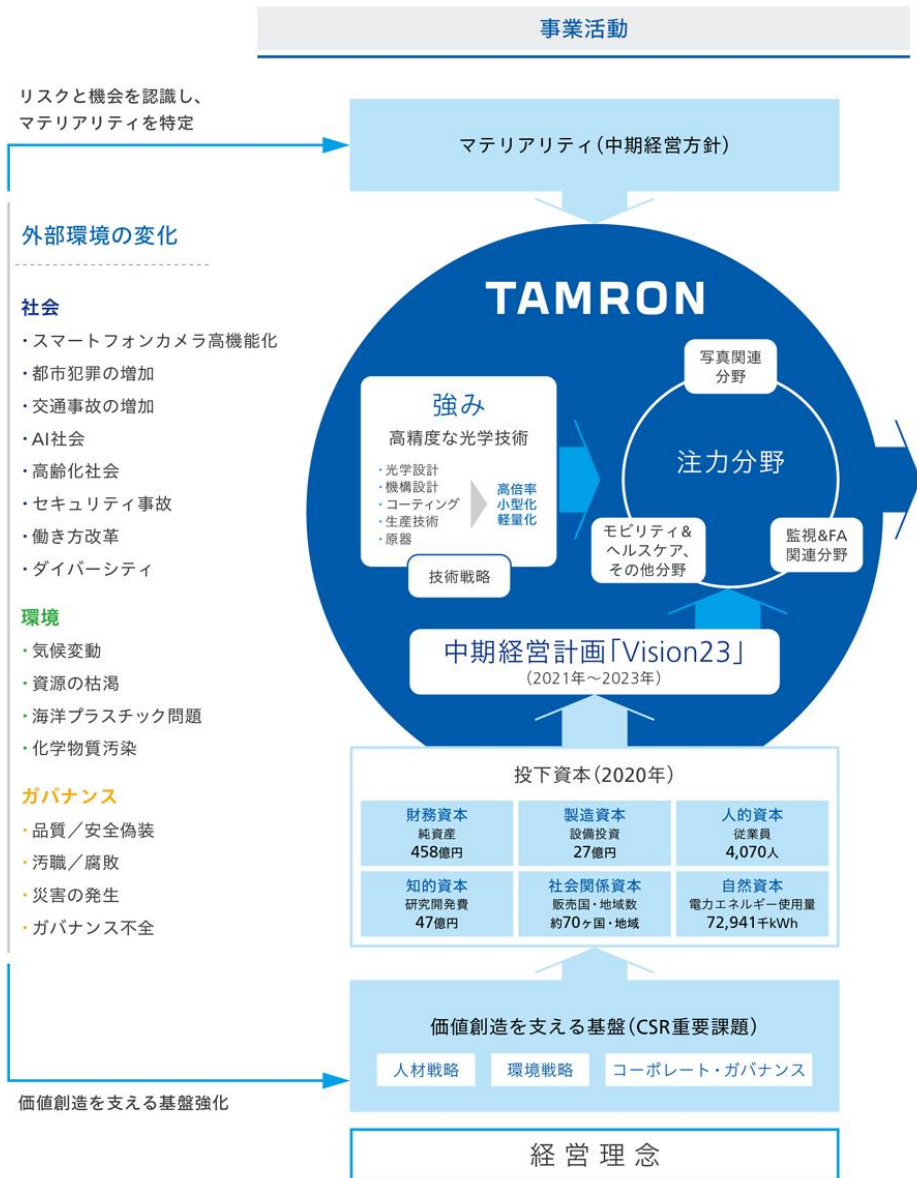
#### 営業利益



※2021年より開示セグメントを変更  
⇒従来のレンズ関連事業と特機関連事業の「監視/FA関連事業」以外を統合

※2020年実績も組み換えて表示

# Ⅲ-3. ESGへの取り組み—価値創造プロセス



## アウトプット

### カメラ用交換レンズ

- ・ミラーレスカメラ用交換レンズ
- ・一眼レフカメラ用交換レンズ

### 監視・FA用レンズ

- ・監視カメラ用レンズ
- ・FA用レンズ
- ・カメラモジュールなど

### 車載用レンズ

- ・センシング用レンズ
- ・周辺・後方視認用レンズ
- ・ヘッドライト用レンズ

### ドローン用レンズ

- ・民生用(ホビー用途)レンズ
- ・産業用(点検・農業など)レンズ

### 新規事業用レンズ

- ・内視鏡用レンズ

当社の目指す姿

社会に尊敬され、必要とされる会社

- ・Good Company
- ・タムロンブランド力の向上
- ・働きがいのある会社

目指す社会

心豊かな社会

SUSTAINABLE GOALS

## 経済価値創出(2023年)

売上高	610億円	営業利益	70億円
営業利益率	11.5%	ROE	9.0%以上

## 社会価値創出(2023年)

感動を感じられる社会

安心に暮らせる社会

健康な社会

働きがいのある社会

持続可能な地球

CO<sub>2</sub>排出量

11.7%削減  
(2015年比)

# Ⅲ-3. ESGへの取り組み—環境ビジョン

## 環境ビジョン2050

地球環境問題を人類共通の課題と認識し、環境負荷の低減、環境の保全に努め、  
環境と調和した持続可能な社会づくりに貢献します。

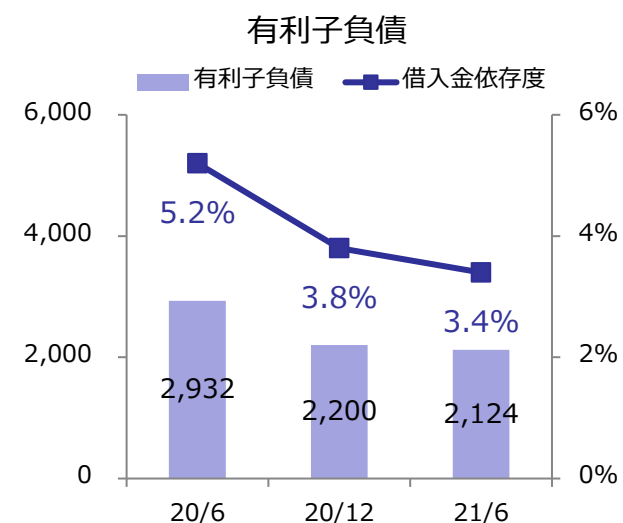
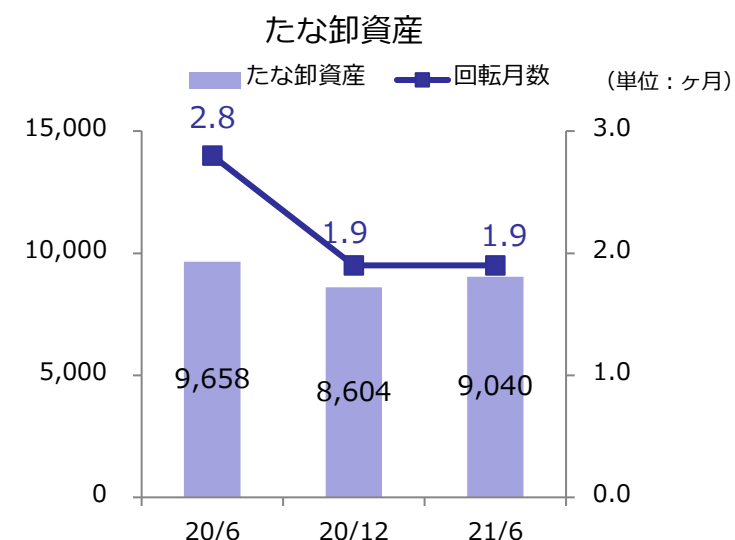


## IV. 参考情報

# IV- 1 . 財政状態

(単位：百万円)

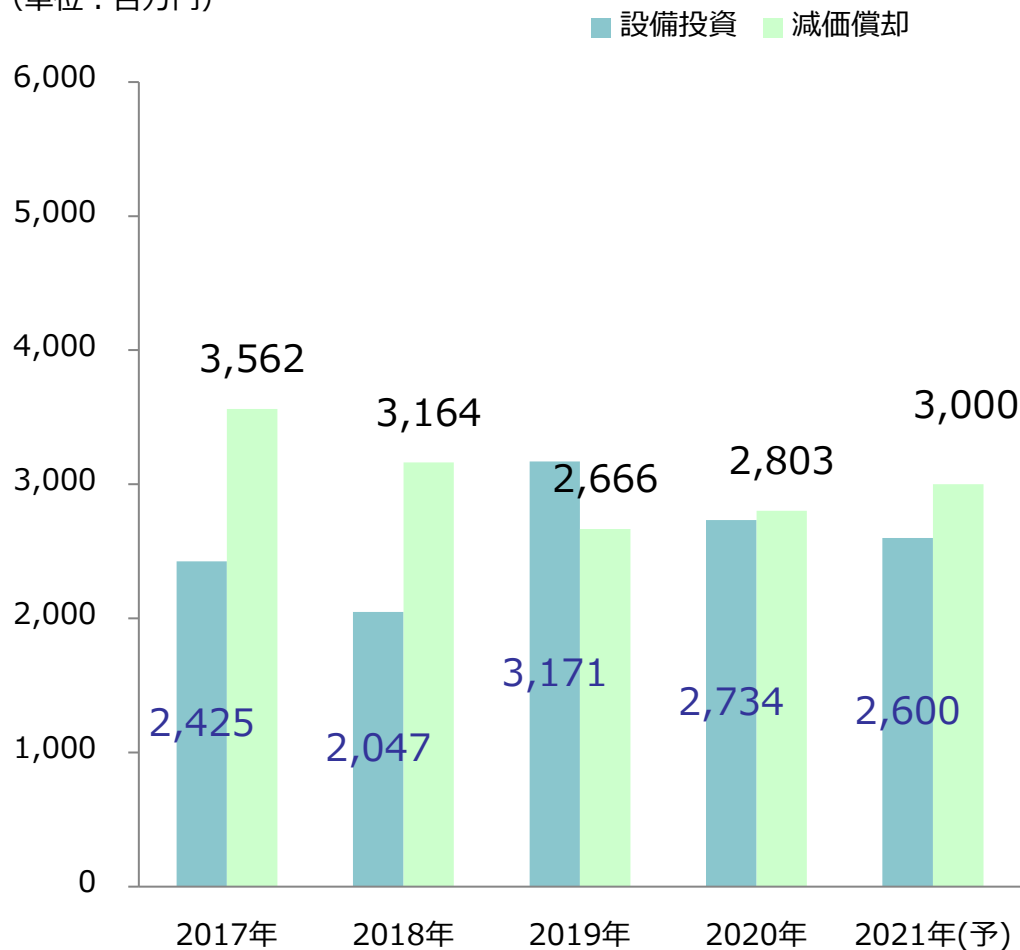
	2020年 12月末	2021年 6月末	増減 (対前期末)
現金・預金	21,417	24,737	+3,319
受取手形・売掛金	10,318	11,316	+997
たな卸資産	8,604	9,040	+436
その他流動資産	1,130	1,003	△126
固定資産	16,719	16,660	△59
<b>資産合計</b>	<b>58,190</b>	<b>62,758</b>	<b>+4,568</b>
流動負債	10,198	11,215	+1,016
固定負債	2,214	2,208	△5
純資産	45,777	49,334	+3,556
<b>負債純資産合計</b>	<b>58,190</b>	<b>62,758</b>	<b>+4,568</b>
自己資本比率	78.7%	78.6%	△0.1%



# IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資額・減価償却費

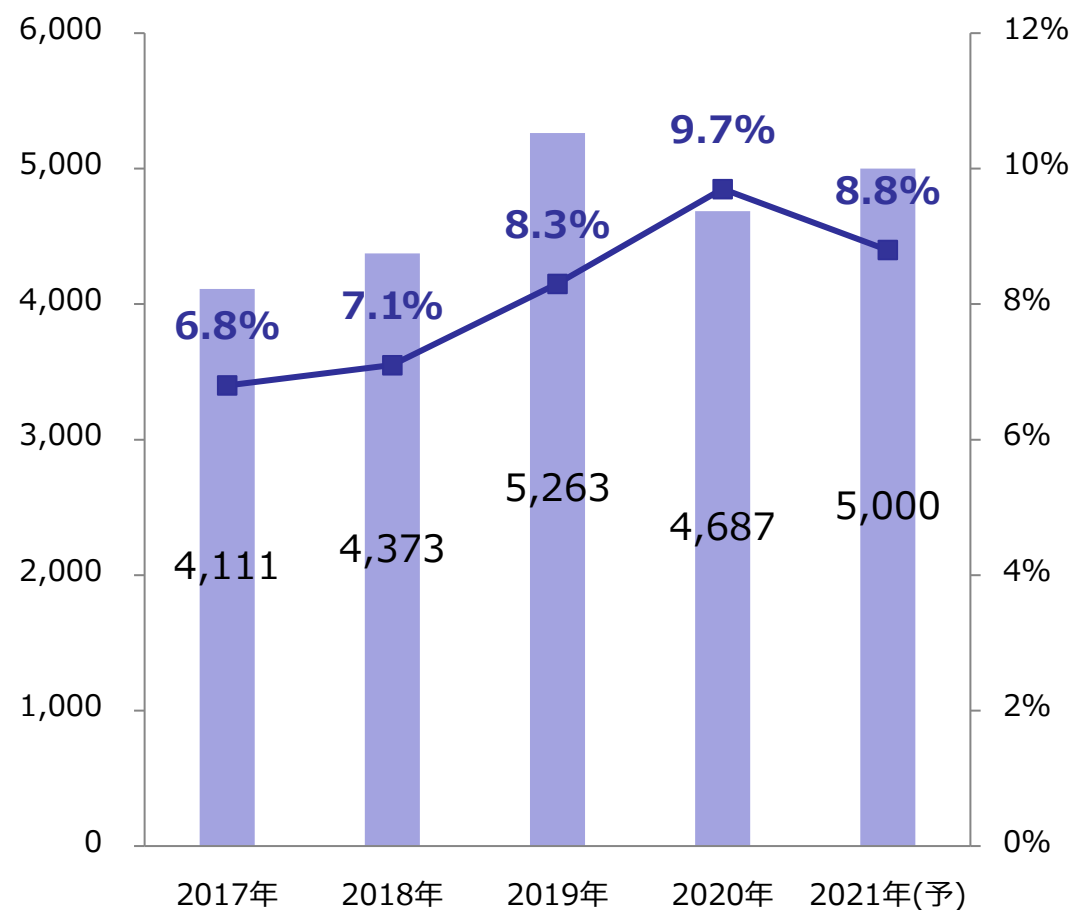
(単位：百万円)



研究開発費

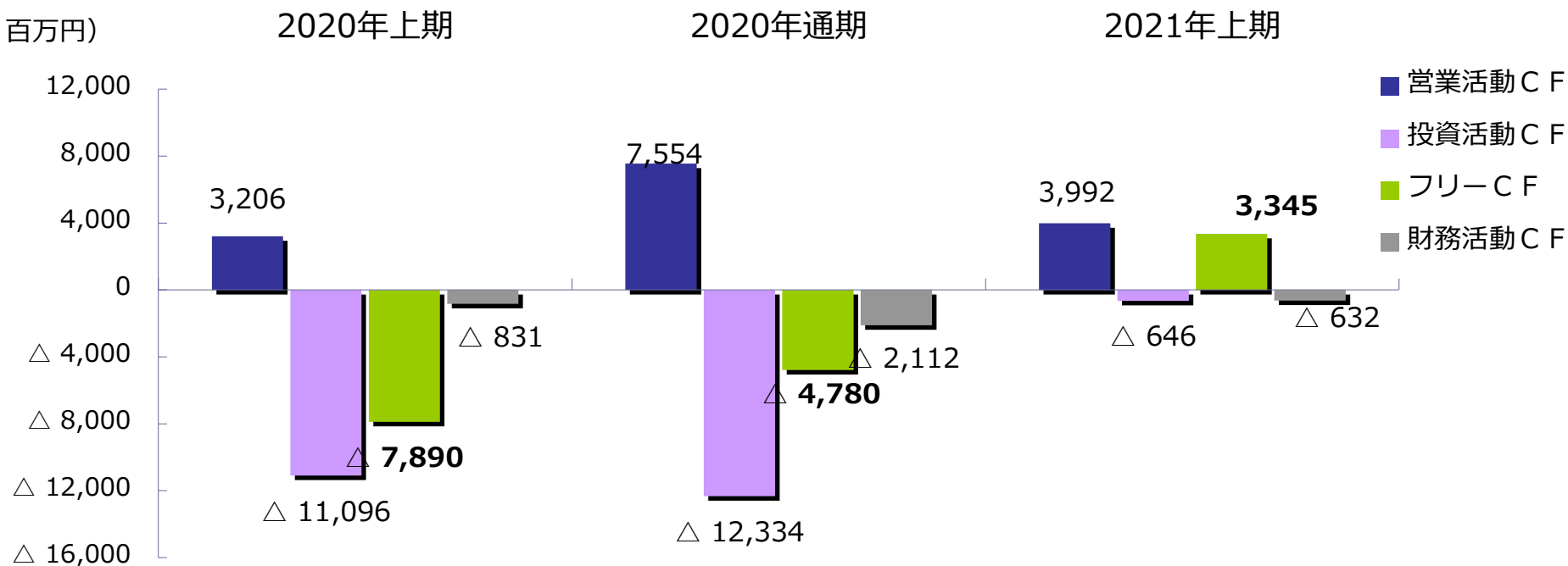
(単位：百万円)

売上高  
研究開発費比率



# IV-3. キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

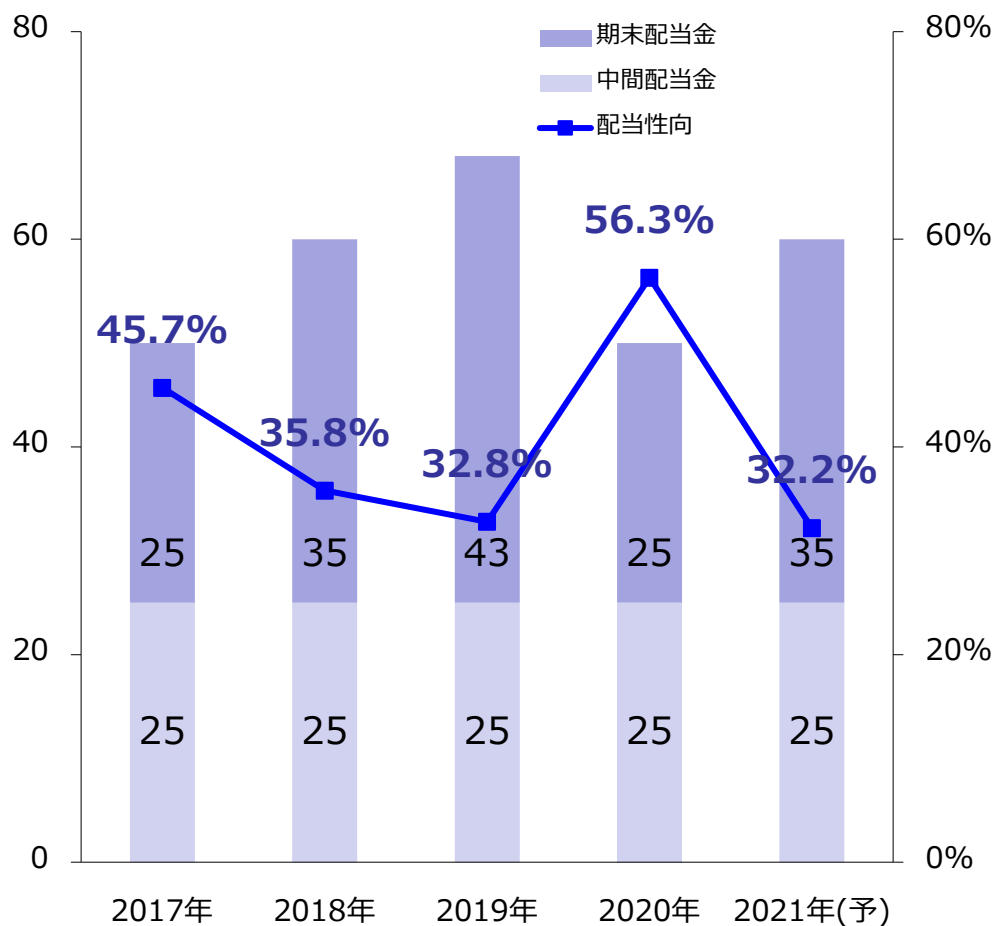


	2020年上期	2020年通期	2021年上期
営業活動CF	3,206	7,554	3,992
投資活動CF	△11,096	△12,334	△646
フリーCF	△7,890	△4,780	3,345
財務活動CF	△831	△2,112	△632
現金及び現金同等物の期末残高	19,476	21,417	24,737

# IV-4. 配当金、主要経営指標

(単位：円)

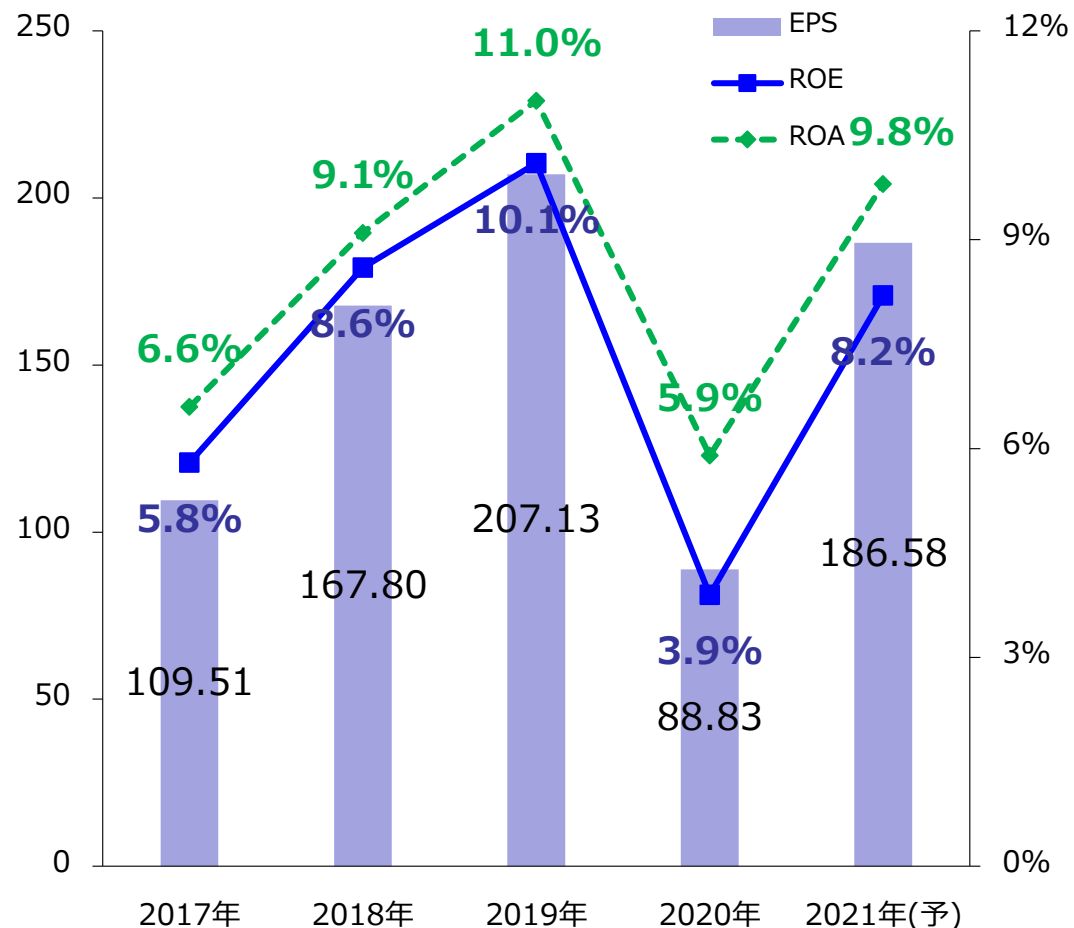
### 配当金



2020年3月：自己株式取得を実施（89億円）

(単位：円)

### 主要経営指標



ROE = 当期純利益 / 純資産 (分母は期中平均)

ROA = 経常利益 / 資産合計 (分母は期中平均)

## 配当政策

- ・ 配当性向目標(連結ベース)：35%程度
- ・ 安定配当



## IV-5. 為替影響

### ①2021年上期 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2020年上期実績	2021年上期実績	売上高	営業利益
米ドル	108円24銭	107円82銭	△0.8億円	+0.1億円
ユーロ	119円36銭	129円92銭	+3.3億円	+2.8億円
他通貨	-	-	+1.7億円	△0.2億円
合計	-	-	+4.2億円	+2.7億円

(前期実績に対する影響額)

### ②2021年下期 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2021年下期前提	売上高	営業利益
米ドル	108円00銭	△1.2億円	±0.0億円
ユーロ	128円00銭	△0.4億円	△0.3億円

# 将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2021年12月期第2四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。